

い雷雨が続き、最大1時間降水量が100 mmに達する地点もあった。

このシステムは、その発達段階を以下の3つのステージに分けて考えることができる。ステージⅠ（午前6時～午前7時）、ステージⅡ（午前7時～午前9時）、ステージⅢ（午前9時～）。今回は、このうちの最初の2つのステージについての解析結果を報告する。ステージⅠでは、システムは幅20 km、長さ100 kmの線状エコーを示し、エコー頂13 kmに達する発達した積乱雲群から構成されていた。内部の循環は、この発達した積乱雲に伴う上昇流・下降流が中心である。このステージのシステムの動きは、ステージⅡでの動きより遅く、ほとんど停滞していた。ステージⅡでは、システムは直径約100 kmの円型のエコーを示し、この内の強エコー域は、北東側に突き出たV字型を示している。システムは、前面の積乱雲と、後面約40 kmの長さのかなとこ雲から構成されるが、熱帯のスコールライン後面に見られる層状性の降雨域は認められなかった。このステージの内部の

循環は、積乱雲スケールの上昇下降流より、強い中層からの流入、上層・下層での流出が特徴的である（第3図参照）。特に、中層後面からの流入は高度2～7 kmの範囲に達し、最大風速は12 m/secに達している。また、下層の前面には、風速20 m/secを越えるガスが存在し、上層の後面には、風速25 m/secを越える領域が存在している。下層のガスの水平スケールは、約15 kmの領域に限られており、V字型エコーの先端部のスケールと対応している。ステージⅡでのシステムの動きは、5 m/secと、ステージⅠに比べて速くなっている。この移動速度の増加には、中層後面からの流入が関係していると考えられる。

参考文献

- 竹村行雄, 1986: 小貝川流域の大雨(昭和61年8月4日夜半)に対する降水短時間予報例, 測候時報, 53, 279-284.
竹村行雄, 1987: 雨の短時間予報, 天気, 34, 229-238.

教官公募のお知らせ

1. 所属講座 自然環境研究講座
 2. 職名および人員 助手 1名
 3. 専門分野 気象学, 特に小さい中規模の気象学について数値解析・野外観測など, 地球物理学的に研究している人。
 4. 担当科目 一般教育 地理学に関する実験・実習の補助,
専門教育 環境科学実験, 野外実習および演習などの補助。
 5. 公募期限 昭和63年6月15日(水) 必着
 6. 採用予定年月日 昭和63年10月1日
 7. 応募条件 博士の学位を有している人(取得見込みを含む)で, 年齢は30歳以下が望ましい。
 8. 応募書類 (イ) 履歴書(写真添付)
(ロ) 業績リストおよび業績の概要
 - (イ) 業績リストにあげられた著書および発表論文(別刷またはコピー)
 - (ニ) 今後の研究に関する計画と抱負
 - (ホ) 推薦状
9. 応募書類の提出先
〒730 広島市中区東千田町1丁目1番89号
広島大学総合科学部長
天野 實 宛
* 封筒に「自然環境研究講座教官応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で郵送のこと。
10. 問合せ先
広島大学総合科学部自然環境研究講座教授
福岡 義隆
TEL (082) 241-1221 内線 2160
FAX (082) 244-5170